

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月9日 (2012.2.9)

【公開番号】特開2011-116755(P2011-116755A)

【公開日】平成23年6月16日 (2011.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2011-024

【出願番号】特願2010-253326(P2010-253326)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/725 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 35/28 (2006.01)

A 6 1 K 35/26 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/725 Z N A

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 0 7 K 16/28

C 1 2 N 5/00 2 0 2 L

C 1 2 N 15/00 G

C 0 7 K 19/00

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K	35/28	
A 6 1 K	35/26	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	U
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	39/12	
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/566	
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月12日(2011.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

CD223に特異的に結合しかつCD223の機能を阻害する抗体と、
抗癌ワクチンと、
を含む組成物。

【請求項 2】

薬学的組成物である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

組成物が患者への投与後にインビボで形成される、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

CD223に特異的に結合しかつCD223の機能を阻害する抗体と、
抗癌ワクチンと、
を含むキット。

【請求項 6】

抗体およびワクチンが別々の容器内にある、請求項 5 記載のキット。

【請求項 7】

癌患者に対してキットの成分を投与するための説明書をさらに含む、請求項 5 記載のキット。

【請求項 8】

抗癌ワクチンで癌患者を治療するための組成物であって、
CD223 に特異的に結合しかつ CD223 の機能を阻害する抗体と、
抗癌ワクチンと、
を含み、前記抗体が、抗癌ワクチンに対する癌患者の抗癌応答の大きさを増大させる、組成物。

【請求項 9】

抗癌ワクチンに対する免疫応答を抑制する調節性 T 細胞を有する癌患者において抗癌ワクチンに対する免疫応答の抑制を克服するための組成物であって、
CD223 に特異的に結合しかつ CD223 の機能を阻害する抗体と、
抗癌ワクチンと、
を含み、前記抗体が、抗癌ワクチンに対する癌患者の応答を増大させる組成物。

【請求項 10】

抗体がモノクローナルである、請求項 9 記載の組成物。

【請求項 11】

哺乳類の T 細胞の数を増大させるための組成物であって、CD223 タンパク質または CD223 mRNA に結合する阻害剤を含む組成物。

【請求項 12】

阻害剤が CD223 タンパク質と特異的に結合する抗体である、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 13】

阻害剤が CD223 mRNA の少なくとも 7 ヌクレオチドに対して相補的であるアンチセンス RNA 分子を発現するアンチセンス構築物である、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 14】

阻害剤が CD223 mRNA の少なくとも 7 ヌクレオチドに対して相補的であるアンチセンス・オリゴヌクレオチドである、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 15】

阻害剤が CD223 mRNA に特異的に結合するリボザイムである、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 16】

阻害剤が CD223 mRNA に特異的に結合する RNA 干渉分子である、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 17】

哺乳類が癌患者である、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 18】

哺乳類が骨髄移植レシピエントである、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 19】

癌患者において T 細胞の数を増大させるための組成物であって、
CD223 タンパク質に結合しかつ CD223 タンパク質の機能を阻害する阻害剤と、
抗癌ワクチンと、
を含む組成物。